
午前三時のスイートタイム

王星 遥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

午前三時のスイートタイム

【コード】

N8910Y

【作者名】

王星 遥

【あらすじ】

オリジナル小説「無音の執事」の主人公の歌のつもりです。割と本気で書きました。

凍った時間に雫が舞う 真つ赤な紅茶はいかがですか？

時計の鐘は三度鳴る 甘い時間が今始まる
おやつ やつどき おやつどき？
甘いお菓子はいかがですか？

時計の鐘が三度鳴る 苦い時間の始まりさ
にがい おかしは きらいかな？
苦いお菓子は犯しに変わる

凍った時間に雫が舞う 真つ逆さまの銀ナイフ
ティーポットは砕け散った
午前三時のスイートタイム 甘苦さを永遠に
深紅の雫が滴り落ちる
紅の紅茶はいかがですか？

時計の針が三を指す 甘い時間の始まりさ
あまい おかしは ここにあり
当然貴女だけのものです

時計の針は三を指す 苦い時間が今始まる
ものを いわぬ にんぎょうに
僕は銀ナイフを突き立てる

凍った時間に雫が舞う 吹き出した深紅の紅茶
汚れた入れ物は碎け散った
午前三時のスイートタイム 辛い記憶は一瞬に
甘苦い雫は滴り落ちる
鮮血の紅茶はいかがですか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8910y/>

午前三時のスイートタイム

2011年11月26日20時48分発行